

「人とペットの災害対策ガイドライン」の改訂に係る課題・論点

能登半島地震への対応を通じて抽出した課題への対応、防災基本計画との整合、今後想定される災害への備え等を踏まえ、「人とペットの災害対策ガイドライン」を改訂するにあたっての課題として、以下4点を抽出した。

課題1：関係機関の連携

課題2：災害の種類や状況の変化等を踏まえた対応

課題3：情報周知・情報収集

課題4：その他

各課題について、ガイドライン改訂に向けた論点を含めて以下に整理した。

課題1 関係機関の連携

【課題】

- 防災部局と動物部局との連携が不十分
- 都道府県と基礎自治体との連携・体制づくりが不十分
(災害対応は基礎自治体、ペット対応は都道府県等という施策体系の違いなど)
- 自治体と民間団体等との連携が不十分

【論点①】

関係機関の連携を円滑に進めるためにはどのような内容・工夫が必要か。

- 例)・各主体(自治体の各部局、民間団体等)の役割や、各主体の関係性について
分かりやすく記載
- ・優良事例の充実

課題2 災害の種類や状況の変化等を踏まえた対応

【課題】

- 災害の種類による避難行動等の違い
- 季節による避難行動や受入れ準備の違い
- 発災からの時間の経過による避難所のあり方の変化
- 社会的・地理的条件による違い（自治体、飼い主等）

【論点②】

災害の種類など様々な状況を見据えてどのような内容・工夫が必要か。

- 例）・災害の種類別、季節の種類別で解説
- ・地域性等による初動の違いを解説
 - ・発災初期、中期、後期で分けて解説
 - ・多様な避難形態（在宅避難、車中避難など）について事例を交えて解説


課題3 情報周知・情報収集

【課題】

- 避難所運営者等へのペット対応に関する情報周知が不十分
- 同行避難やペット飼養可の避難所についての情報周知が不十分
- 同行避難者に関する情報収集が困難
- 自宅避難者等の被災者のペットに関する情報収集が困難

【論点③】

円滑な情報周知・情報収集のためにはどのような内容・工夫が必要か。

- 例）・優良事例の紹介（ペットに配慮した避難所の設置運営方法、避難所の情報管理関係のアプリ等）
- ・避難所の情報収集シートや保健師のヒアリングシートへの同行避難に関する項目の追加
 - ・避難所運営マニュアル等への記載（ペット同行避難受入れ方法等）につなげるための工夫 

課題 4 その他

【課題】

- 同行避難／同伴避難／同室避難等の用語の整理
- 避難所統合時のペット同行避難者の移動手段
- 物資等の備蓄場所の確保・物資等の輸送方法
- 都市部の災害時における帰宅困難者のペット対応
- ペット連れ専用避難所の位置付け（1.5 次避難所以降）
- 島嶼部等での避難対応
- その他不足している観点

【論点④】

上記課題についてどのような内容・工夫が必要か。

例）・関係機関と用語のすり合わせを踏まえた対応

- ・ 都市部や島嶼部でのペット災害対策の初動に関する内容の追加
- ・ 前回改訂以降の情報の更新・追加
 - ✓ 防災基本計画の改訂に関する情報
 - ✓ 一時預かり、同伴避難、同室避難等の事例紹介
 - ✓ ペット飼養可の避難所の飼養スペースの作り方
 - ✓ スターターキット、備蓄についての情報
 - ✓ ペット同室避難のリスクについて
 - ✓ ・ペット災害支援協議会など未掲載の情報の更新 など

